科目名			担当教員	
高齢者福祉論			中里 仁（上）／石附 敬（下）	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CL2064	2	1	RorSR (講義)	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

⑴　高齢者問題の背景（高齢者人口の動向・家庭環境の変化）を中心としながら、高齢者福祉の成立要因を多角的に考えてみる。
⑵　高齢者福祉施策の変遷を学習する。
⑶　老人保健福祉計画・介護保険事業計画の概要を学習する。
⑷　在宅高齢者福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
⑸　高齢者施設福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。

■到達目標

わが国の高齢者福祉の現状と課題を理解し説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

■教科書・参考図書

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座２ 高齢者福祉　第２版』中央法規出版、2025 年

（最近の教科書変更時期）2025年４月

（スクーリング時の教科書）

【各会場共通】上記教科書は使用しません。配付する資料を中心に講義をすすめます。

【参考図書】

なし

スクーリング

▶仙台・オンデマンド開講分　石附　敬

■スクーリングで学んでほしいこと

本講義は、①老いについての理解と、②高齢者福祉に関する制度の理解の２つの柱で構成します。前半では、ライフコースの視点から老いというものを自身の身近な問題として考えていきます。後半では、介護を中心とした高齢期の生活課題に対応した制度体系について理解していきます。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	老いについて①	社会的な老い
2	老いについて②	心と身体の老い
3	高齢者を取り巻く諸問題	少子高齢社会、健康・介護・経済・生活意識等
4	高齢者福祉の発展	戦後から介護保険制度の成立まで
5	介護保険制度とサービス体系①	制度概要、在宅サービスの体系
6	介護保険制度とサービス体系②	施設サービスの体系、事例検討
7	高齢者支援における方法	支援の方法と留意点
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイント、配付資料、教科書をもとに講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験のみ（持込全て可）。※スクーリング講義で説明した内容について理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の講義テーマに関係する箇所を事前に読んで、自分なりに学びたいことを考えてきてください。受講後は、体系的に知識を整理することと、それぞれの関心のあるテーマについて、書籍、論文、新聞記事など読み学びを深めてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	高齢者の定義と特性について	高齢者の定義と特性、高齢期の社会的・身体的、精神的そして総合的な変化を理解する。	高齢者の福祉（幸せな状態）を学ぶに当たって、その定義と特性を理解することが何より重要なポイントとなります。加齢に伴う身体的、精神的な変化を充分に理解したうえで総合的に高齢者の方々を理解してください。

2	少子高齢社会の到来について	少子高齢社会の現状と要因を理解すると共に、日本の高齢化の特徴と課題について理解する。	少子高齢社会が国家にもたらす「その意味合い」を理解するとともに、将来日本社会のあるべき方向性について考察を深めてください。
3	高齢者の生活実態について	高齢者の経済状態および就業の状況、健康および要介護の状況、社会参加、生活環境について理解する。	低年金者の増。一方で労働人口の減少の中、健康で就労可能な高齢者の就業（働き方の在り様）、社会参加の重要性等について考察を深めてください。
4	高齢者を取り巻く社会環境について	高齢者を取り巻く三つの社会環境、高齢者世帯の特徴、家族介護の（者）を捉えたうえ、家族ケアの問題、高齢者と家族の生活保障の必要性について理科する。	老老介護、単身高齢者世帯の増加、「8050 問題」など高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化しています。その中で、高齢者と家族に必要な制度や社会（地域）との繋がりについて理解してください。
5	高齢者福祉の歴史と理念について	高齢者福祉の起源と生成、第二次世界大戦以降の我が国における高齢者保健福祉制度の発展過程を理解する。	現在の高齢者保健福祉制度の歴史的変遷を理解することは、「将来」日本社会の方向性や制度のあるべき姿を考察するうえで重要なポイントとなります。高齢者福祉の歴史と理念を俯瞰的に捉えながら考察を深めてください。
6	介護保険制度について①	介護保険制度の理念、概要、枠組みについて理解する。	長らく続いた措置制度から、高齢者の特に要支援・要介護高齢者の増加に伴う介護保険制度への移行は、日本の高齢者福祉政策の大転換といえる。その理念、概要、枠組みについて理解してください。
7	介護保険制度について②	介護保険制度における地域支援事業、介護保険サービスの体系について理解する。	理念、概要、枠組みを理解したうえ、地域支援事業と介護保険サービスの体系を理解することは、ソーシャルワークのみならずケアワークの実践者にとっても必要な事項です。考察を深めてください。
8	高齢者保健福祉の法体系について	介護保険制度のみならず高齢者に対する現行の関連諸制度について理解する。	複雑多岐にわたる多様化した高齢者の福祉ニーズに対応するためには、高齢者に対する関連諸制度の理解と組み合わせが必要不可欠となります。しっかりと理解してください。
9	高齢者と家族の支援における関係機関と専門職の役割について①	少子高齢社会の現在、高齢者のみならず家族への支援は不可欠な状況にあることを念頭に、関係機関の役割について理解する。	行政機関、指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会、ハローワークやシルバーセンターといった関係機関の役割についてしっかりと理解してください。
10	高齢者と家族の支援における関連機関と専門職の役割について②	フォーマルな専門職、インフォーマルな援助者の役割について理解する。	前記したよう、複雑多岐にわたる高齢者の福祉ニーズに対応するには、フォーマルな専門職の支援に加え、インフォーマルな援助者の支援は必要不可欠な存在です。その現状と意味合いについて理解してください。
11	高齢者と家族に対する支援の実際①	高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割について理解する。	アセスメントとコミュニケーション、個人へのソーシャルワークとケアマネージメント、家族へのソーシャルワーク、グループワークについて、その実際について理解を深めてください。

12	高齢者と家族に対する支援の実際②	高齢者領域におけるチームアプローチの重要性について理科する。	地域へのソーシャルワーク、多職種・多機関連携とチームアプローチは高齢者と家族の支援には必要不可欠な要素です。理解を深めてください。
13	高齢者と家族に対する支援の実際③	利用者主体の具現化に必要な、認知症ケア、終末期ケアについて理解する。	利用者主体、尊厳の保持を具現化するために欠かせない認知症ケア、終末期ケアにおけるソーシャルワークについて理科してください。
14	高齢者と家族に対する支援の実際④	地域ケア会議における地域包括ケアシステムの構築の実際と重要性について理解する。	住み慣れた自宅や地域で最後を迎えたいと願う高齢者の支援には地域ケア会議、そして地域包括システムの構築が不可欠です。その実際について理解を深めてください。
15	高齢者と家族に対する支援の実際⑤	家族の介護負担軽減と就労支援、看取りの支援､「8050 問題」下での疑わしき虐待、ご近所トラブルを抱えた独居高齢者の在宅支援、認知症高齢者支援など、5 つの事例から、高齢者と家族が抱える生活上の課題について理解する。	具体的な「事例」からの学びは大きな学びです。 異なる５つの事例による高齢者と家族に対する支援事例を通し、その底流を流れる「社会が抱える根本的な問題と要因」について。また､「血縁、地縁、社縁」の再考（見直し）の必要性について考察を深めてください。

■レポート課題 ――

1 単位め	「高齢社会とは何か」「高齢者とは何か」、そして病や死の時期の「尊厳のあり様」について自らの体験等に基づき、見解を述べよ。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス ――

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“老い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

【1 単位めアドバイス】

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業（？）するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして､「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1,800 字以上で**まとめてくださることを希望します。1,800 字未満では再提出になる可能性が高くなります。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めてください。

１ ）高齢者の身体的理解：加齢に伴う心身機能の変化（加齢による変化と疾患）について要約し記述ください。

２ ）高齢者の精神的理解：精神機能の老化、老年期の病気（高齢期の精神障害・認知症・うつ病等）について要約し記述ください。

３ ）高齢者の総合的理解：生涯発達の意味と課題（人生全体からみる高齢期の発達課題）と死とスピリチュアリティ（全人的存在としての人とスピリチュアリティ）について要約し記述ください。

４ ）介護保険制度の誕生から地域包括ケアシステムの構築までについて要約し記述ください。